

平成 19 年 11 月 27 日

各 位

会社名 株式会社夢真ホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長 佐藤 眞吾
(コード番号 2362 大証ヘラクレス)
問合せ先 管理本部本部長 宗村 佳明
(TEL 03-6674-4605)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 31 日の決算発表時に公表した平成 19 年 9 月期(平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 平成 19 年 9 月期連結業績予想数値の修正(平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)
(単位:百万円,%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 42,500 | 1,600 | 1,500 | 700 | 円 銭 9 76 |
| 今回修正予想(B) | 38,831 | 288 | 244 | 42 | 0 59 |
| 増減額(B-A) | 3,669 | 1,312 | 1,256 | 742 | 10 35 |
| 増減率(%) | 8.6 | 82.0 | 83.7 | | |
| (ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期) | 41,554 | 837 | 1,286 | 69 | 0 97 |

- 2 平成 19 年 9 月期通期業績予想数値の修正(平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)
(単位:百万円,%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 1,220 | 500 | 380 | 30 | 円 銭 0 42 |
| 今回修正予想(B) | 1,235 | 307 | 220 | 553 | 7 71 |
| 増減額(B-A) | 15 | 193 | 160 | 583 | 8 13 |
| 増減率(%) | 1.2 | 38.6 | 42.1 | | |
| (ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期) | 1,092 | 204 | 237 | 56 | 2 23 |

3 修正の理由

(1) 連結

イ．売上高の差異（ 3,669 百万円）

人材派遣事業においては、社会的な人材不足の影響を受け、予想より 488 百万円の減少となり、また、不動産・建設事業も業績が軟調であり、予想より 3,090 百万円の減少となり、さらにその他事業の業績も予想より 91 百万円の減少となり、売上高は予想より 3,669 百万円減少する見込みであります。

ロ．営業利益の差異（ 1,312 百万円）

人材派遣事業においては、売上高の減少及び人材を確保するための先行投資による販管費の増加により、予想より 243 百万円の減少となり、また、不動産・建設事業においては、子会社の早期売却を進めるため、不採算の不動産物件の早期処分を進めた事により、予想より 876 百万円減少となり、単体での営業利益の減少 193 百万円と合わせて、合計 1,312 百万円減少する見込みであります。

ハ．経常利益の差異（ 1,256 百万円）

上記ロ．に記載の通り営業利益が 1,312 百万円減少しており、また、受取配当金が 75 百万円、受取利息が 31 百万円増加し、子会社での有利子負債圧縮に伴い支払利息が 30 百万円減少したものの、投資事業組合損失が 86 百万円増加したこと等により、経常利益は予想より 1,256 百万円減少する見込みであります。

ニ．当期純利益の差異（ 742 百万円）

当期純利益につきましては、上記ハ．に記載の通り、経常利益が 1,256 百万円減少し、また、単体で経常利益が 583 百万円減少しているほか、子会社ののれん減損損失の計上等により 44 百万円、合計 1,883 百万円減少しておりますが、子会社売却損益、子会社株式評価損及び子会社に対する貸倒引当金及び損失の連結修正等により、それぞれ 880 百万円、162 百万円、110 百万円増加し、その結果、合計 742 百万円減少する見込みであります。

(2) 単体

イ．売上高の差異（15 百万円）

当初予想通りの見込みであります。

ロ．営業利益の差異（193 百万円）

販管費の圧縮に努めておりましたが、子会社売却の伴う諸手数料が発生したことに伴い、販管費が予想より増加したことにより営業利益が 193 百万円減少する見込みであります。

ハ．経常利益の差異（160 百万円）

上記ロ．記載の通り、営業利益が 193 百万円減少しておりますが、受取配当金が 80 百万円、受取利息が 31 百万円増加したものの、投資事業組合損失が 86 百万円増加したことにより、経常利益は予想より 160 百万円減少する見込みであります。

ニ．当期純利益の差異（583 百万円）

当社子会社である株式会社夢真エンジニアリングの売却に伴い 1,316 百万円の利益を計上したものの、株式会社夢真アーバンフロンティアの売却に伴う損益が予想より 658 百万円減少したほか、各資産を保守的に精査した結果、子会社株式評価損を 162 百万円、非上場の投資有価証券評価損を 107 百万円、子会社等への貸付金に対する貸倒引当金及び損失を 332 百万円、遊休資産の一括償却 47 百万円計上し、また、投資有価証券の売却を積極的に推し進めた結果、売却損を 650 百万円計上しております。

この結果、経常利益で 160 百万円減少し、特別損益で 640 百万円減少しておりますが、法人税等税金費用の算定において、税効果等を慎重に検討し、予想より 223 百万円減少し、合計 583 百万円減少する見込みであります。

なお、11/22 付でリリースした、(株)夢真キャピタルの株式譲渡解除による損益への影響は軽微でありますので、上記修正の理由には記載しておりません。

以 上